

APIGA 参加報告

登山 昌恵

JPCERT/CC 国際部

2021/12/14



もくじ

1. 概要	p3
2. 参加者・登壇者	p4,5
3. 実施の背景と効果	p6
4. カリキュラム	p7
5. 全体セッション	p8
6. グループワーク	p9,10,11
7. 所感	p12
8. 改善を期待したいところ	p13
9. おまけ	p14,15
10. 参加方法	p16

Asia Pacific Internet Governance Academy

- 主催：KISA, ICANN
- 目的：インターネットとそのエコシステムを学び、インターネットガバナンスに関する政策立案ができる若きリーダーの育成
- 過去4回は5日間韓国にて。今回初のオンライン

- 期間：2021年10月1日(金)ー11月12日(金)
 - **全体セッション(12回)** 火・金 20:30-22:30
 - **ICANN72** 指定3会議の聴講
 - **グループ会議** 主に土日の夜 複数回
 - **Open Consultation**
 - **事前課題**

参加者

- 書類選考に通過した18-35才までの35名。
- 半数が学生として登録
- 韓国が5人、国籍は様々

登壇者(抜粋)

- Sally Costerton (SVP, Global Stakeholder Engagement & Advisor to the President and CEO, ICANN)
- Maarten Botterman (Board Chair, ICANN)
- Leon Sanchez (Board Vice-Chair, ICANN)
- Akinori Maemura (Board Member, ICANN)
- Jia-Rong Low (VP, Stakeholder Engagement & Managing Director, APAC, ICANN)
- Edmon Chung (CEO, DotAsia)
- Joyce Chen (Senior Advisor, Strategic Engagement, APNIC)
- Leonid Todorov (General Manager, APTLD)
- Kenny Huang (Managing Director & CEO, TWNIC)
- Adrian Wan (Senior Manager, Policy & Advocacy, ISOC)
- Won-tae Lee (President, KISA)

実施の背景・効果

- ICANNとKISAのほか、APNIC、DotAsia、ISOC Asia Pacific Bureauなどの地域パートナーの協力で2016年から実施。
- 過去のデータによると、APIGA卒業生の4人に1人が、地域や世界のインターネット・ガバナンスの場に継続参加。
 - ICANN、APNIC、IETF、ISOC、その他のさまざまなIGフォーラムなど
 - APrIGFへ応募

カリキュラム

- Governance on/of the Internet
- Structure and Policy Dev Process
- Principles of Internet Governance
- Group Discussion and Presentations
 - ✓ IG Issues in your country
 - ✓ Mock proposal for APriIGF
 - ✓ ICANN 72 report
 - ✓ ICANN Conference Roleplay

全体講義



■ ICANNと、その配下および APNICに参画する様々な組織の沿革・体系・ミッションの説明

■ PDP(ポリシー策定プロセス) についての解説

- Open
- Transparent
- Bottom-up



グループワーク : Mock proposal for APriGF

- IoT機器の急増とその廃棄の現状を見つめ、製造者・技術者・政府・非政府組織それぞれの立場でどのように責任を果たすべきか
- インクルージョン&サステナビリティ
- コメント：概ね良好。実際の提出も視野に。

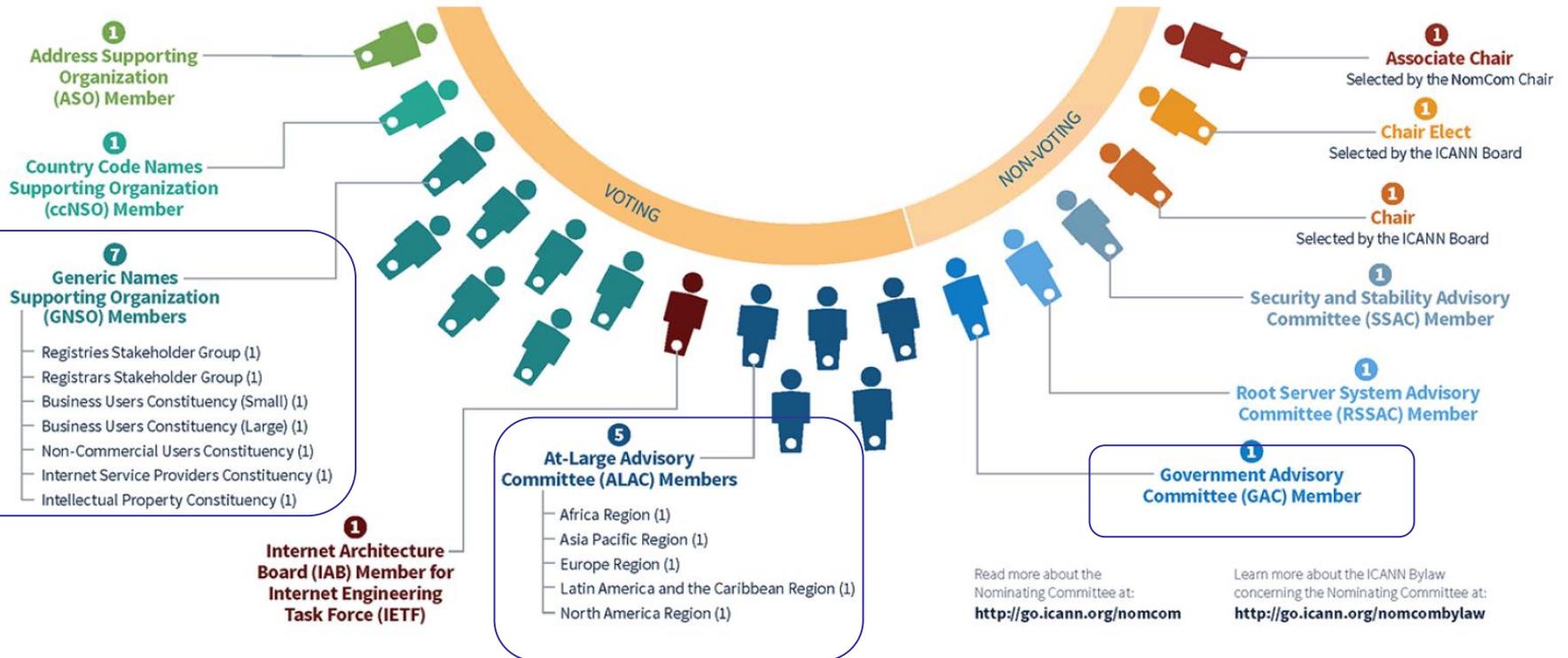
*“Highly relevant to theme and Regional focus” “Good diversity of speakers.”
“Better framing of policy questions would give clarity to how the discussion is framed”
“Think about more eye-catching title”
“Participants will continue to be interested in this topic if they see an ongoing discussion after this panel.”*



グループワーク : Conference Roleplay

■ ALAC vs GAC vs GNSO

The Nominating Committee Structure



ICANN Conference Roleplay

■ 議題：DNS Abuseの定義

「DNSのセキュリティと安定性の維持」がICANNのミッションだが、ICANNがどこまで関与あるいは管理する/できるかの解釈が立場によって異なっているため DNS Abuseの定義が明確化されていない。

- GNSOは自発的なDNS Abuseフレームワークのベストプラクティスを支持
<http://dnsabuseframework.org/>
 - ICANNの責務であるDNSセキュリティ脅威の範疇を超えた要請やコミュニティ活動に懸念
 - どこまでをDNS Abuseに含むか、GNSO内でも利害相反している部分がある

■ ロールプレイを通じて

- 短期間ながらもICANN議論の一端に触れることができた
- 他グループの主張の把握が難しかった
- 準備>>>実際の発表
- 現実と異なる主張の展開に戸惑い

感想

- 頻度、課題のボリューム感、求められるインプットの質など、全体的にかなり密度の濃いプログラム
- 登壇者のPersonal sharingが参加者のモチベーションに
- ICANNの模索を感じ取った
 - 政府の関与が強まるなかで何ができるのか
 - Multistakeholder modelの改善
- ついていけるか心配で、開始しても情報量に圧倒されていたが、失敗もチャレンジとなるためもう少し肩の力を抜いて臨んでもよかった
- 事前準備にはJPNICのインターネット用語1分解説にとってもお世話になった。ロールプレイでは現在までの議論の流れをおおまかに把握するためJPRSのメールマガジン増刊号も参考にした
- 話がmake senseしていないと全員の時間を浪費するため、話す力が事前準備に増して大切

主催者側に改善してほしいこと

- ポータルサイトがほしい
 - プレゼンに使われた資料
 - Pre-reading
 - 各参加者のバックグラウンド
 - セッション時間の変更
 - Whatsappで共有された連絡
 - 使用ツールの一覧 などを一括して載せてほしい
- プレゼン内容のかぶりがあった。打合せしてほしい
- 使用ツールを絞ってほしい
Skype/WhatsApp/Email/Google Docs

普段の業務や生活に活かす

■ APIGA Alumniネットワーク 今後に期待

■ ボキャブラリー

—I* (I-Star) = loosely referring to Internet organisations like ICANN, APNIC/RIRs, APTLD, ISOC, etc.

—tokenism = トークニズム (少数派優遇「批判を防ぎ、人々が公正に扱われているように見せるためだけに何かをする慣行)

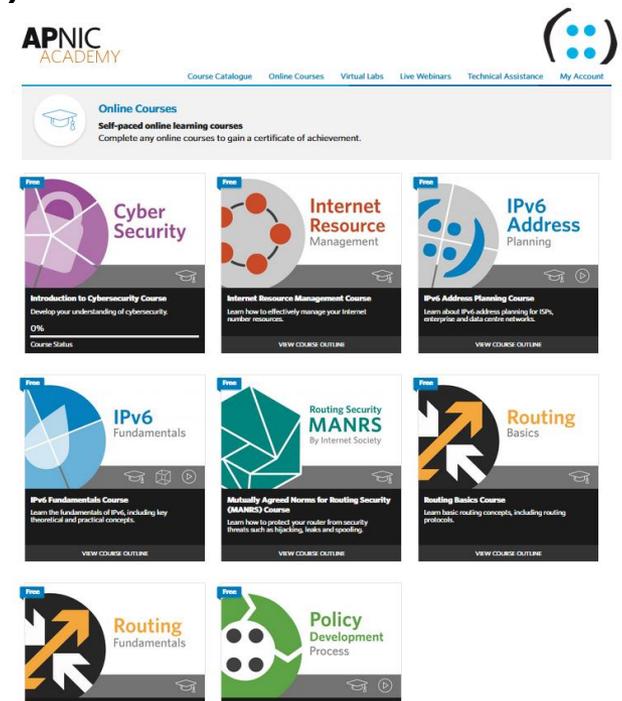
—jargon = 専門用語, 業界用語

—voluntold = 任意参加に半強制されること

事前課題

■ トレーニング(無料)

- ISOC on Internet Governance (moderated and self-paced)
- ICANN Learn Course (self-paced)
- APNIC Academy (self-paced)



参加方法

■ 例年は5月に申込受付開始、7–8月中の5日間に実施。

※2021年は応募期限：8月初旬、参加決定通知：8月下旬、開講：10月初旬

■ 参加資格

- アジア太平洋地域の18歳から35歳までの学生または社会人
- インターネットガバナンスに関心があり英語が使える
- インターネット接続が可能

■ 詳細（APIGA Website）

<https://community.icann.org/display/GSEAPAC/Asia+Pacific+Internet+Governance+Academy>

— APNIC Fellowship を通じて応募

■ 物理開催の様子

